

和歌山市様

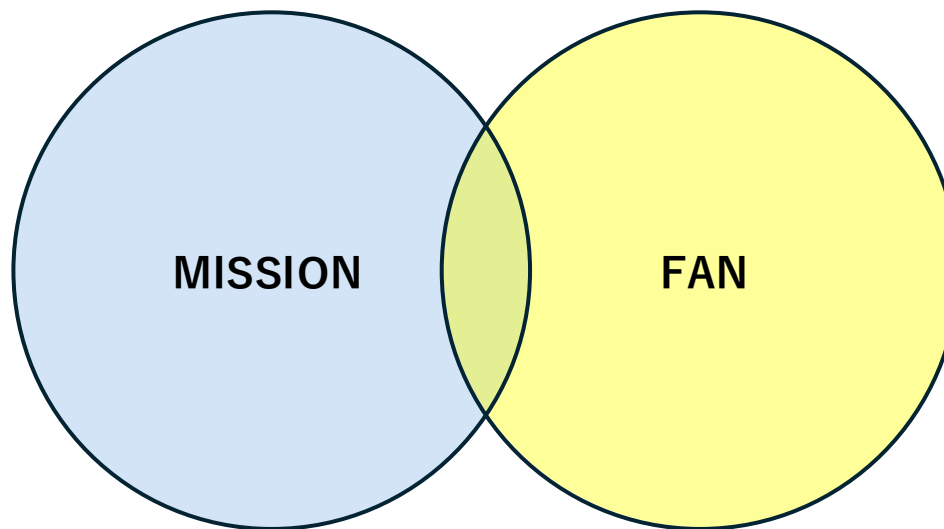
和歌山市魅力発信プロモーションプロジェクト「わかおしっ」
プロデュース業務 企画提案書

GK Kyoto

Design and Planning

20260806

地方自治体のキャラクターコンテンツ運用は



両輪揃うことで安定した継続運営が可能です

目的を見失わず、キャラクターを使用して
発信をしていくことが大切

キャラはあくまでツールであり、伝えるべきメッセージを届ける媒体であることを忘れずに運用を続けることが大切。
幅広い人に届けるために市全体で使っていくのが理想。
ただし、出稿量には注意。



話題性、認知、自立性を拡大させる
ファンの醸成をすることが大切

ファンはキャラクターコンテンツを消費するだけのタイプと自ら生み出すことでコミュニティを広げていくタイプの2パターンがある。「自ら生み出す」ファンの存在がコンテンツを続けていくためには重要。

常に誰に向けた企画なのかを明確にしながら運営していくことが重要です

「わかおしっ」現状分析（イ）

AI制作時の立ち上げ時に話題になった先進的な事例から、人の手によるキャラクター制作を経て、4月に立ち上がって間も無いプロジェクト。キャラクター造形は一定のクオリティはある。一方で特別個性を持ったキャラクターにはなっていない。プロジェクトを強化していくには設定や世界観の強化・拡張が必要。

AI制作時の立ち上げ時に話題になった先進的な事例から、人の手によるキャラクター制作を経て、4月に立ち上がって間も無いプロジェクト。キャラクター造形は一定のクオリティはある。一方で特別個性を持ったキャラクターにはなっていない。プロジェクトを強化していくには設定や世界観の強化・拡張が必要。

「わかおしっ」公式SNSの現状分析（イ）



ポスト数：116 フォロワー：957人

4月20日から運用、4月27日でフォロワー776人

7月30日現在986人（3ヶ月弱で210人プラス）

地域の魅力紹介など、本来の目的での使用をされており、市民に対して理解を得られやすい活動になっている。また投稿の頻度がキャラクターの存在感を高めるのに効果が出ており、フォロワー数は増えているが、一般ユーザーのハッシュタグでの発信やファンアート等の投稿はまだまだ少ない。＝コアなファンはまだ少ない。



ポスト数：116 フォロワー：822人

投稿の多くが様々な取り組みを扱っているのので、「わかおしっ」の情報を収集するページとして認識はされない。メディアの特性として内容の深掘はできるので、コアなファンに届ける媒体としては、活用可能。他の投稿記事と混在していくのが良いかは要検討。

今後出てくる可能性のある動画コンテンツは
Youtubeをメディアにしながら、さまざまな
フォーマットで展開。



方針として

専用のメディアとして独立している「X」は、基本的な運用は継続しながら、地域住民やファンが自分から発信していく『UGC（ユーザー生成コンテンツ）』を誘発する仕掛けを導入し、エンゲージメント率を引き上げる。オンラインの企画だけでは偏りが出てしまうし、地域での盛り上がりには繋がりにくいので、リアルな場としてのエンゲージメントを増やす企画を作っていく。

「わかおしっ」公式SNSのエンゲージメント数の増加および認知度向上・愛着形成施作（イ、エ）

提案

基本的な運用は継続しながら、UGCをさらに地域住民が自分から発信する『UGC（ユーザー生成コンテンツ）』を誘発する仕掛けを導入し、エンゲージメント率を引き上げる。

1. イラストコンテスト開催

ネット上でもリアルでも参加しやすいルールで開催し、全ての作品をリアルな展示スペースで一定期間展示。

ファン投票も行い、優秀な作品に関しては、市の広報物としても起用し、ポスターなどへの展開をする。リアルな展示会場を設定することで、遠方からも足を運んでくれるファンなども想定され、実際に和歌山市の魅力に触れてもらう。

また、参加者には限定グッズなどの配布なども行うことで、参加意欲を掻き立てる仕組みもあると良い。

結果発表をオンラインでも行うことで、SNSのエンゲージメント増加に寄与する。

- ・リアルなファンの人数の把握ができる
- ・直接ファンとコミュニケーションできる
- ・和歌山市の魅力に触れてもらう
- ・UGCが正式な広報物に使われることは創作意欲をくすぐり、参加意識を持ってもらう
- ・UGCの増加を促すことで、二次創作が増え、注目すべきコンテンツとして周知させる。



（AIによりイメージ）

「わかおしっ」公式SNSのエンゲージメント数の増加および認知度向上・愛着形成施作（イ、エ）

提案

基本的な広報活動をしていくときに使いやすいカットを作成していく。
また、広報的にもジェンダーバランスを取っていく必要がある。

2. 公式イラストの拡充

現時点でメインと差分の2カットずつしかないのが、近い将来使い勝手が悪くなる。ファンからも同じカットばかりで飽きられてしまう。継続的に新規カットを作成。

- ・多様な広報に使いやすくなる
- ・ファンを飽きさせにくくする
- ・グッズ等の制作にも有効



別ポーズ

私服版

など

ちなみにキャラクター人気

和歌山市子	786	和歌浦和歌子	138
和歌山城子	97	加太鯛子	160
山東竹ノ子	86	雑賀崎海老子	136

3. 世界観＆キャラクター強化

現時点で女性キャラクターしかおらず、現代のジェンダー観からすると早急に男性キャラクターを投入する必要がある。女性ファンも必要になるので、その観点からもバランスよくキャラクターを設計する。
また、そのキャラクターたちが活躍する世界観を一般市民をはじめとしたユーザーやファンが親近感を感じられるものにする。

- ・ジェンダーバランスを取る
- ・多様な広報に使いやすくなる
- ・ファンを飽きさせにくくする
- ・グッズ等の制作にも有効



女性6人

男性キャラクター

「わかおしっ」公式SNSのエンゲージメント数の増加および認知度向上・愛着形成施作（イ、エ）

提案

ファンの醸成に寄与する企画を実施していくことで
ファンコミュニティをより強固なものにしていく。

4. 声優の起用

Youtubeでの広報やSNSで動画を使用する際に声がつくと一気に表現も豊かになり、キャラクターの魅力を倍化させます。

ファン醸成にも大きく貢献する。プロを起用すると使える年数などの制限があるので、変更前提で数年単位で交代していくシステムを構築。

ファン参加型の投票イベントにしても良い。

- ・ 動画を使った広報に使いやすくなる
- ・ ファンイベントなどの集客に大きく貢献する
- ・ 世界観のイメージが増幅される



5. 二次創作イベントやファンMTGの開催

ある程度のファン層が醸成されてきたら、上記の声優を起用した企画や、コスプレ、二次創作の頒布会など、コアなファン層を醸成していくのにダイレクトな場として毎年開催などを行う。ファン同士でコミュニケーションを取れる場所とする。遠方からの参加者もいるので、実際に和歌山市の魅力に触れてもらう。

- ・ 創作しないファンも来場、より広いファン層の把握ができる
- ・ コアなファン層の醸成に寄与する



「わかおしっ」公式SNSのエンゲージメント数の増加および認知度向上・愛着形成施作（イ、エ）

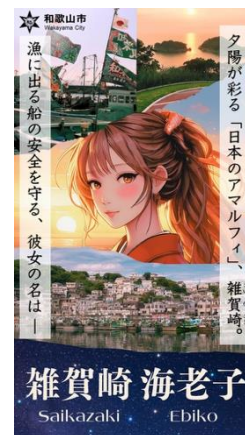
提案

AI活用について
継続した活用を検討する。

6. 生成AIを使用した広報を継続

今後、さらに進化していくAIでの創作シーン。和歌山市が本プロジェクトでAIを使用して発信したことは価値があるので継続したAI活用を模索することで他の事例にみないユニークポイントとして獲得することが可能。

・他に真似のできない取り組み



新キャラクターデザインを踏襲しながらAIで生成した広報を検討

高頻度な接触と物語の深掘りによる「市民の愛着形成」と「域外認知度の飛躍的向上」を目指して（オ）

2026 基盤強化	2027 基盤強化・ファン拡大	2028 地域連携・ファン拡大	2029 体験価値の深化	2030 ブランド定着
基盤構築・認知拡大 ・追加キャラクターの制作・世界観の深化（仕様書対応） ・オリジナルロゴの展開と視覚的ブランディングの定着 ・常時触れることのできる聖地の設定 ・高頻度かつタイムリーなSNS発信体制		エンゲージメント深化・地域連携 ・市内の商店街や観光地、商業施設とのリアルコラボイベントの本格化 ・ファンコミュニティ（UGC：ユーザー生成コンテンツ）を誘発する参加型企画の実施 ・広報コラボの拡大		中長期ブランド確立 ・プロジェクトの自走化に向けた民間企業・サポーターとのエコシステム構築 ・長期的なファン層（コア層）の定着による経済波及効果の検証と次の展開への移行
2. 公式イラストの拡充 3. 世界観&キャラクター強化	1. イラストコンテスト開催 6. 生成AIを使用した広報を継続 5. 二次創作イベントやファンMTGの開催	4. 声優の起用		
Xフォロワー目標数 1,400人	Xフォロワー目標数 2,100人	Xフォロワー目標数 2,800人	Xフォロワー目標数 3,500人	Xフォロワー目標数 4,200人